



HISTOFINE

\*\*2013年 4月改訂(第3版)

\*2010年11月改訂(第2版)

2005年 5月作成

研究用試薬

## ヒストファイイン

第一抗体

抗カルシトニンポリクローナル抗体

(動物種:ウサギ)

包装: 50 テスト (6mL)

Code: 412091

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■**特異性および抗原分布**: ヒトカルシトニンと特異的に反応する。カルシトニンは血液中のカルシウムを低下させる働きがあり、分子量約 3500 のポリペプチドで甲状腺の旁濾胞細胞に存在する。特異性および家族性の甲状腺髄様癌と反応する。まれに、ランゲルハンス島細胞腫瘍とも反応する。

■**製法**: ウシ血清アルブミンに結合させた合成カルシトニンを免疫したウサギ血清より得ている。

### 1. 内容

第一抗体・・・抗カルシトニンポリクローナル抗体 (動物種:ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に 6mL を含む。

### 2. 使用目的

組織・細胞中のヒトカルシトニンの染色。特異性および家族性の甲状腺髄様癌の同定に有用である。

### \*\*3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を 2 滴(100 $\mu$ L)滴下し、常温(15-25 $^{\circ}$ C)で 30 分~1 時間インキュベートする。\*\*

この反応時間は、ヒストファイイン シンプルステイン MAX-PO(R)を使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身が至適反応時間を調べる必要がある。\*

### 4. 貯法

2-8 $^{\circ}$ C保存。

### 5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

### 6. 主要文献

(1) Foster, G. V.: N. Engl. J. Med. 279: 349, 1968

(2) Williams, E. D.: J. Clin. Pathol. 19: 114, 1966

(3) Wolfe, H. J. et al: Lab. Invest. 42: 292, 1980

■研究用としてのみ使用すること。